

JSL カリキュラム 4 年算数科学習指導案

〇〇市立〇〇小学校

1 単元名 「面積」 (面積の求め方のくふう)

2 対象

(1) 子どもの実態

- ・ 出身国：ブラジル
- ・ 母語：ポルトガル語
- ・ 滞日歴：2 年半
- ・ 就学年月 1 年 1 ヶ月

(2) 子どもの現在の学習する力 (レディネス)

〈 日本語の力 〉

① 聞く力・話す力

日常会話は、たどたどしいながらも少しずつ自分から話そうとしている。語彙が少ないために、自信が持てない。話しかけられると、コミュニケーションはとることができる。一斉授業の中で、一日一回は発表できるように支援している。発表の声も少しずつ大きくなってきた。別室個別指導は、一日一時間程度である。在籍学級にいたいという気持ちを持つようになったため、国語・算数・社会の時間は同室複数指導による支援を行っている。

② 読む力

読書が好きで、字の多い図書の本を借りてきて読むなど読書に親しんでいる。国語の教科書は、ルビが振ってあれば上手に音読をすることができる。しかし、在籍学級で音読することについては、まだ自信がもてずにいる。一对一では、自信を持って上手に音読することができている。物語や説明文を読み取ることは難しいが、挿絵や写真を手がかりにしたり、子ども多文化共生サポーターの通訳を通したりして、学習を進めている。

③ 書く力

初期指導で平仮名・カタカナを習得し、1, 2 年の漢字はほぼ書くことができる。3 年の漢字は、まだ定着してない部分もあるが、別室個別指導で復習している。日記や作文を書くことが好きで、短い文章ではあるが、毎日三行日記を進んで書いてくる。徐々に長い文章を接続詞も使って書けるようになった。助詞の使い方が不安定なときがあり、その都度、指導している。

〈 教科の知識・スキル 〉

ブラジルで習得した学習が、2 年の足し算と引き算程度で、かけ算は定着していなかったため、3 年 2 学期転入時より、別室個別指導で 3 年の算数学習と並行しながら、抜けている 2 年の学習内容を指導してきた。日本語で九九を唱える練習、長さ・かさ・重さ、繰り上がりのある加減の筆算、図形など、家庭学習でも繰り返し計算プリントなどで練習し、計算については確実に定着してきた。たし算・ひき算・かけ算・わり算などの計算はすべてできる。長方形・三角形・正方形の形の違いについては理解できている。また、面積を求める上で必要になる「たて・横」についても、理解できている。定規を使って、長さを測る技能も身につけている。面積の求め方については、本単元で初めて学習することになる。

(3) 教材観

本単元は、「面積」「大きな面積」「面積のもとめ方とくふう」の3つの小単元で構成されている。これまでに児童は、長さ、かさ、重さなどの量について学習を進めてきている。「広さ」という抽象的な概念について初めて学習することになるが、日常における「広い」「せまい」という定性的な見方から、「面積」という概念を通じて、長方形や正方形の面積の公式を活用することで、定量的な見方へと切り替えていくことができる。つまり、広さについても数で表すことができること、また、その表し方について理解させることができる単元である。

(4) 外国人児童に対する指導方法

〈 日本語における指導方法 〉

- ・ 在籍学級との連携を密にするために、学習の計画や様子について情報交換をする。
- ・ 発問は、AUカードを意識した分かりやすい言葉にし、ゆっくりと明確に話すようにする。
- ・ 算数科での「広さ」「長方形」「正方形」「たて」「横」などの既習語彙は理解し、授業でも活用できている。しかし、社会科や国語科では難しい学習言語が多く、別室個別指導をしている。例文作り、形容詞の文型を活用した練習、言葉絵辞典を活用した指導で、知識の確認をしたり反復練習をしたりして語彙の定着を図る支援をしている。
- ・ 初めて出会う日本語の言葉（面積、方眼、公式 面積の単位 cm^2 、 m^2 、 km^2 など）について、翻訳で理解できるように前もって準備をする。
- ・ 児童にとって効果が得られるように、適宜、別室個別指導と同室複数指導を行う。

〈 算数科における指導方法 〉

- ・ 具体物や半具体物を活用して、問題解決の助けとする。
- ・ 自力で解けない場合は、「ヒントカード」や「学習あしおとコーナー」を手がかりにして考えさせる。
- ・ 問題場面を分かりやすく提示した絵や図の入ったワークシートを活用し、児童の思考をまとめられるよう工夫するとともに、発表にも生かせるようにする。

3 単元目標

面積の概念を理解し、 cm^2 、 m^2 、 km^2 を知る。また、長方形や正方形の面積の公式を知り、それらを求めることができる。

4 評価規準

- 【関心・意欲・態度】 長方形や正方形の面積を表すことに関心をもち、長方形や正方形の求積公式を利用して、身のまわりにあるものの面積を求めようとする。
- 【数学的な考え方】 長方形や正方形の求積の仕方を考えることができるとともに、工夫して面積を求めることができる。
- 【表現・処理】 求積公式を用いて、色々な長方形や正方形の面積を適切な単位を選んで求めることができる。
- 【知識・理解】 面積の概念を知り、面積の単位 cm^2 、 m^2 、 km^2 がわかる。また、長方形や正方形の求積公式を理解する。

5 指導計画（全11時間）

第1次 面積・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3時間

- ・面積の概念と面積の単位 cm^2
- ・長方形、正方形の面積の求め方と公式
- ・長方形の求積公式の活用、作図

第2次 大きな面積・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3時間

- ・面積の単位 m^2 、 m^2 と cm^2 の関係
- ・ 1m^2 の量感
- ・面積の単位 km^2 、 km^2 と m^2 の関係

第3次 面積の求め方のくふう（L字型の図形の面積の求め方）・・・・・・ 2時間（本時1／2）

第4次 たしかめ道場・復習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3時間

6 本時の学習（第3次 第1時）

(1) 目標

○教科の目標

L字型の図形の面積を多様な方法で求めることができる。

○日本語の目標

- ・面積の求め方をみんなに発信することができる。

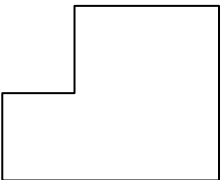
「はじめに～します。つぎに～します。さいごに～します。」と表現することができる。

（AUカード K-4「考えたこととそのプロセスを表現する」）

- ・「長方形」「正方形」「面積の公式」「たてに分ける」「横にわける」など、面積に関する言葉を理解、表現することができる。

(2) 準備物 L字型の図形（目盛付き） 教材提示装置 ホワイトボード ワークシート

(3) 授業展開

	学 習 活 動	主なやりとり	支 援
導 入	1 これまで学習した長方形と正方形の面積の求め方について振り返る。	T: これは何でしょうか。 C: 長方形です。 T: この図形の面積を求める公式は覚えていますか。 C: はい、たて×横です。	・前時までに習った「正方形」「長方形」「面積の公式」「単位」などを教室に掲示しておく。
展 開	2 学習活動のめあてを知る。 	図形の面積をくふうして求めよう。 T: 今まで学習したことを使って、この図形の面積を工夫して求めましょう。 C: はい。 T: どんな方法がありますか。 C: 線を引いて2つに分けます。 T: みんなで一緒に確かめましょ	・ワークシートにめあてを書くことで、本時の学習に見通しを持つことができるようにする。 ・目盛をつけた図形を配布し、補助線を引いたり、切ったりしながら、どんな方

	<p>をたす。</p> <p>㊦：横に線を引いて2つの長方形をたす。</p> <p>㊧：大きい長方形から欠けた部分をひく。</p> <p>4 どの辺の長さを測ればよいか見通しを持って、実際に測る。</p> <p>(1) ワークシートに面積の求め方と説明を書く。</p> <p>(2) ほかに方法を考える。</p>	<p>う。</p> <p>T：どの辺の長さを測ると、面積が求められますか。</p> <p>C：たてと横です。</p> <p>T：ワークシートに、面積を求める式と答えを書きましょう。</p>	<p>法があるかを考えることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援が必要な児童には、「線を引く」「2つに分ける」などのヒントカードを見せる。 机間指導を行い、3つの考え方を、意図的に児童を指名し、ホワイトボードに書いて黒板に掲示する。
発信	<p>5 それぞれの求め方を発表する。</p> <p>6 学習のまとめをする。</p>	<p>C：私は、縦に線を引きました。はじめに、右の長方形の面積を出しました。つぎに、左の長方形の面積を出しました。最後に、たしました。(AUカード K-4)</p> <p>C：わたしも、同じです。</p> <p>C：わたしは、違うわけ方です。(前に出て、説明する。)</p> <p>C：わかりません。もう一度説明してください。</p> <p>T：3つの方法は式がすべて違います。答えはどうなっていますか。</p> <p>C：同じです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「はじめに」「つぎに」「さいごに」のカードと掲示図を用いて、順序よく説明することができるようにする。 いろいろな方法が出てくる中で、同じ考えや違う考え、また、意味がわからない場合に、「同じです。」「わかりません。」と言えるように支援する。 黒板で視覚的に確認することで、複合図形の面積の求め方には、様々な方法があることに気づかせる。

【評価】

- 複合図形の求積には、3通りの方法があることに気づくことができたか。
- 複合図形の面積を、分割して求めることができたか。
- 求め方をワークシートに整理し、日本語で説明することができたか。